病棟に日傘 熱中症予防に

養南新聞
発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax〈0584〉57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケアクリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-41
☎058-274-9600

近年岐阜県では最高気温が40度を超えるなど猛暑が続いている。気象庁によると、今年も「暑い夏」になると言われており、様々な熱中症対策が考えられている。なかでも日傘には1～3度のWBGT（暑さ指数）低減効果があり、熱中症警戒レベルを1段階下げることができると言われている。これを受け、このほど西病棟（ストレスケアセンター）に5本の無料レンタル日傘が導入された。

UVケアもお忘れなく！

入院患者が真夏の炎天下にコンビニへ外出する際などの熱中症リスクは以前から指摘されており、今回の導入に至った格好だ。導入を決めた業務改善委員会の小寺公彦委員長は「コロナ対策も大事だが熱中症対策も大事。男性も是非使って欲しい」とピンクのフリル付き日傘を回しながら嬉しそうに話した。

また日傘に詳しい外来の熊田佐知子看護師は「真夏の紫外線は美白の大敵。私は駐車場から病院までの間も日傘は手放しません」と話した。

それはともかくこれが1面トップって…コロナの影響ですね

◆勉強会①

6月22日（月）、楽山・杜の会の神戸陽子さんと神山琴衣さんから、法人としての1年間の変化と「やろまいか」の進め方についての活動報告があった。

多くの課題を克服するための法人の取り組みについて紹介する中で「養南病院の先生やスタッフの皆さんのアドバイスは大変心強く、いつも助かってます」と語った。

活動報告をしていただいた神戸さん（写真左）と神山さん（写真右）

みかルンの病院ミシュランガイド

「大型スクリーン」

北病棟にも、たいそう立派な大型スクリーンを設置しちゃったような。どのくらい立派ですか？ケンシロ…じゃなくて施設管理グループの川地さん！

「もちろんオレぐらい大きくて立派だ！」

このくだりって、何年か前の会議室のスクリーン設置の時とやり取りが同じような…。

「それがだな、何年か前に設置したスクリーンよりかなり高機能なものを、また北嶋と取り付けたんだ。今回は多分大丈夫だ」

あ～なるほどね。あの時は設置して3日で床に落ちてたもんね。

「…知らん！」

リモート会議にも活躍するかもよ。

今回の期待度
星4つ★★★★

今回の写りもバッチリだ！

「食のこだわり」

「鰻のゆくすえ」

管理栄養士の鈴木です。大人の事情で先月21日の「土用丑の日」に鰻を出せなくて、なんと代わりに出したのは「うなぎパイ」。冗談じゃないっての。なんとかしたいなあ。そうだ！「土用二の丑」ってたしか8月2日（日）じゃなかったっけ。今度こそ鰻だ！あ…でも日曜はパンの日って決まってるからなあ。うーん。思い切ってパンにはさんで「うなサンド」ってどうですか？課長！

丸山「却下します。でもその意気込みを買って8月3日（月）に鰻丼出すわ」

やったあ。私の手柄ですね。でもうなぎパイ丼なんて言わないでくださいね。

やっぱ鰻はパンに挟むより熱々ごはんですよね。

◆勉強会②

6月29日（月）と7月6日（月）の両日、発達障害に関する勉強会が開催された。講師をつとめた心理課の黒田直美課長からは、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症などについて、事例紹介を交えながら具体的な説明があり「それぞれが重なりあっている場合も多く、判別にかなり苦慮することもあるが、生きづらさを取り除いてあげることが大切であり、理解することに努力を惜しんではいけない」と力強く話した。

◆家族教室　年内は中止

研究研修委員会は、新型コロナウイルス感染防止のため年内の家族教室を中止にすることを発表した。ここ数週間の感染動向を踏まえ、委員からは「オンライン家族教室」などの案も出されるなどぎりぎりまで開催の方向性を探っていたが、さすがに実現は困難と判断。やむなく中止の決断にいたった。委員からは「なんとか来年こそは…」との声が聞かれた。

ルンルンみかルン

デイケア

デイケアカレンダー2021

2021年度カレンダー掲載作品をメンバーらで現在作成中。表紙となる作品は毎年恒例の巨大ちぎり絵。来年度の干支である「丑」は完成間近とか。今年も期待できる大作となっているようだ。

これはまだほんの一部です。完成までお楽しみに（清光）

デイケア

モルック

デイケアで盛り上がっているレクスポーツを紹介。今回紹介するのは「モルック」。モルックとは地面に並べられた複数の木のピンめがけてモルックという木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツ。1996年にフィンランドにて発祥し、老若男女が楽しめるスポーツである。この度、デイケアの利用者らで手作りし、忠実に再現。毎回、熱い試合が繰り広げられ、人気を博している。

仕事をサボってるのではなく「癒し」の時間を作っているのです。

デイケア

癒しの時間を作ろう

今でしょ講座6月のテーマは「癒し」。「豊かな生活を送るためには癒しの時間を持つことが必要」と熱く語る門脇真司作業療法士。事前に「あなたの癒しの時間は？」と題して、スタッフやメンバーにアンケートを実施。その中から手芸、紅茶、草花など様々な「癒し」を皆で体験した。8月のテーマは「本当の自分を知ろう」。乞うご期待！

ピンが倒れる感覚が最高！

◆アルサポをデイケアで

これまで外来で個別に行われていたアルコール依存症の治療プログラム、通称「SMARPP（スマープ）」が8月からは「アルコール回復支援プログラム」通称「アルサポ」としてデイケアセンターで行われることとなった。

本来依存症治療のプログラムは入院で行うことが原則とされていたが、近年は外来での治療プログラムも推奨され始めている。当院でも心理士を中心に「SMARPP」を行ってきたが、今後は集団で行うことのメリットを重視しデイケアセンターで行うこととなった。

デイケア課の和田祐己係長は「依存症は身体だけでなく社会的信用や家庭の崩壊につながる恐ろしい病気。是非プログラムを受けて回復を目ざしてほしい」と話した。

おいしいお茶菓子を用意して、お待ちしています。

羅笑門

Q 早速ですが、養親会の活動内容を教えて頂けますか？

Mはい。1つ目は**顔合わせ会**です。新人や異動となったスタッフが早く雰囲気に慣れるように機会を提供しています。先輩・後輩が分け隔てがないように意識してます。

Q なるほど…平等ですか…

M2つ目は**冠婚葬祭**への参加や、**祝儀**などを渡したりしています。スタッフは大切な仲間であり無論その家族もなんで、当然な活動ですね。

Q 友愛…

M3つ目は仲間が勇退されるとき、ちょっとしたセレモニーを催してます。皆さん恥ずかしがりますが、人として当たり前ですね？

Q 人道…

今回はここまで。この続きは…9月号でのお楽しみ！

養親会のメンバーと思わしき人物がロッジと思われる扉を開ける瞬間

◆スティホームで何してた？②

先月の関谷院長に続いて、今月もスタッフのステイホーム期間の家での過ごし方をのぞき見。

「シャッター裏のコウモリを退治していました」とサラッと話すのは新川麻貴作業療法士。居心地がよかったのか長く棲みついていたのを見過ごしていたが、このご時世衛生面を考えるとやっぱり退治が必要と考えたとのこと。「見た目は可愛らしいんですけどね」と微笑みながら話すが、暗闇の中（コウモリが外に出かけている間）忌避スプレーを振りまく姿はコウモリよりもホラーであったとの噂も…。

現場写真は怖すぎたので昼間に再現しました。

◆学生さんの声

丹羽穂乃香さん（中部大学）

「山が近く空気もおいしい。良い環境で実習できて嬉しいです」

GSC通信④

「夏服」

GSCになって初めての夏を迎えてます。私たち事務職員も先月から夏バージョンの制服にモデルチェンジ。「人は、制服通りの人になる」と言ったのはナポレオンだったかしら。今回の制服は黒を基調にキリっと引き締まった中にも優しさと上品さが感じられる。そういう仕事をしなくっちゃね。みんな似合ってるから是非見にいらして下さいませね。

うふふ。

「丁寧な対応を心掛けます」

◆研修医（大垣市民病院）尾崎航太郎先生

養南病院に足を踏み入れたときから養南スタッフの親しみを込めた眼差しに尾崎先生は気付いていたのだろうか。誰もが「何処かで会っている」と感じていた理由がこれであった。

（左）カスタマイズされた廉君
（右）ナチュラル仕様の廉君